

昭和四十八年度

低調に悩む

浜田喜重

昭和四十八年度は総部員数二十五人、四年生が三人しかいないといった深刻な部員不足の中で活動した一年間でありました。

特にこの部員不足の中で稽古スケジュールを立てるることは、佐藤師範・橋本コーチ・幹事連中が最も頭を悩ました事でした。幸い佐藤師範は皇宮警察の師範を兼ねておられましたし、橋本コーチは日体大のコーチを兼ねておられた関係で皇宮警察・日体大その他神奈川県警・青山学院等近来ではめずらしくらいの出稽古の連続でした。

塾内での稽古はと申しますと、乱取の相手も定まってしまひどい時にはあの大きな日吉の道場で乱取をしている者が五・六組という淋しい状態になることもままありました。このような有様でしたので個人的に各試合に好成績を収めるような選手は育成されず、この事は私共四十八年度の幹事として一番悔やまれる事であり、また反省しているところでもあります。

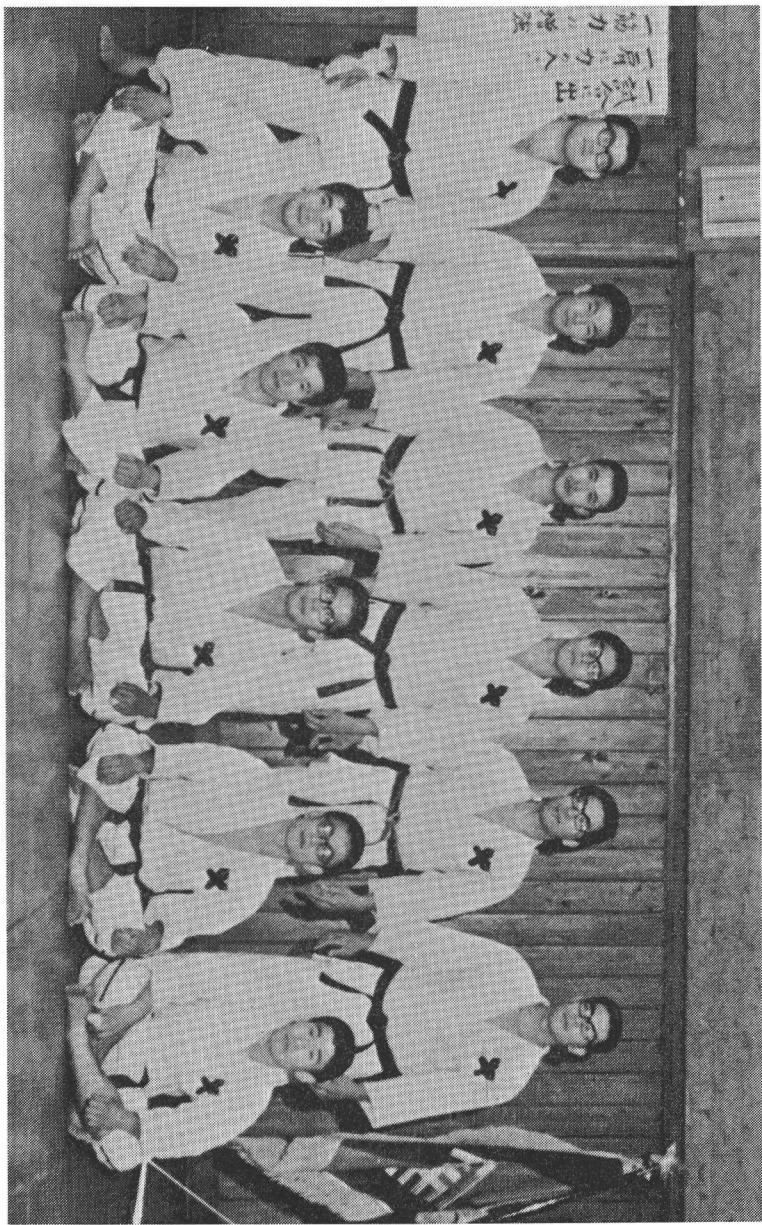
初めからあまり活発な活動がなかつたような事ばかり書いてきましたが、この少人数での一年間の部活動でも青春時代の心に残る思い出は數々ありました。特に総部員の六割以上が合宿所に住んでいた関係上毎日が合宿のようで、上級生・下級生の交流は密になり昔のような黒い物でも白と言わすような風潮はほとんど消えて日常生活は色々とエ

ピソードの多い一年間でした。

次にこの一年間で参加した大会の事を一通り書こうと思います。これらも各試合のたびに早くから姿を消し上位進出することも出来ず、栄光ある諸先輩が見ると情けなくなるような文章ばかりですが、この時代はこういう結果にしか至らなかつたという事で御了承を得たいと思います。

まず東京学生体重別選手権大会は出場選手がすべて二回戦止りで見るべきところがありませんでした。次に東京学生柔道優勝大会は二回戦で専修大学に惜敗し、戦った選手には心に残る激戦であったと思つていますが、観戦された諸先輩には苦々しい戦いであったと言われた大会でした。

四十八年度の夏の遠征は北海道でした。この遠征では一度北海道大学に2-7という無気力な敗れかたで佐藤師範の怒りをかゝってしまい、その場で深く反省しました皆が燃え、即再戦を挑んだら10-0で完勝したという事がありました。そしてメインイベントの早慶戦ですが、この年は早稲田側も部員不足に襲われ20人戦しかできないという異常な状態での戦いでした。この試合は形の上では十四年ぶりに大将戦まで持ち込み、最後は早稲田大将の一本勝という結果で終りましたが内容的には実際に戦った私共も全体的に盛り上がりに欠けた試合であったように思えました。



昭和四十八年卒業生送別記念

寒 稽 古

一月十一日から綱町道場で五時半から寒稽古が行なわ

東京学生柔道連盟委員 日吉高校コーチ 志木高校コーチ 普通部コーチ 中等部コーチ 幼稚舎コーチ	合 ノ 事	幹 副 主 監	將 務 督	將 長	役 員
--	-------------	------------------	-------------	--------	--------

対 渡 浅 高 足 前 若 沢 金 浜 友 清 佐 清 気	渡 馬 辺 井 田 野 見 山 宮 原 谷 田 田 藤 水 賀 水 正 健	馬 好 幸 雅 君 洋 和 雄 茂 俊 重 喜 直 健	辺 美 朗 昌 式 二 武 英 信 重 輔 臣 毅 一 三
-------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------	-------------------------------

れた。例年二週間の寒稽古も今年は学生の帰省などの関係で十日間となつた。最終日には恒例のお汁粉会と表彰式が行なわれた。

横浜地区新人柔道大会

一月二十八日 於 県立武道館

今大会では全員のびのびと試合を行ない、好成績を収めその後の活躍が期待された。しかし一年無段の部で死亡事故が発生したため、一、二回戦まで進んだところで大会は中止となつた。

一年(無段の部)

○高崎英雄	合 技	布 施(金沢)
○高崎英雄	絞 技	村 上(港北)
渡辺俊也		

一年(有段の部)

○高輪真澄	不戦勝	三橋(一商)
○高輪真澄	不戦勝	川 戸(桐陰)
田辺隆太	合 技	○若林(港北)
園田彰		

大会中止のため試合せず

二年(有段の部)

○小泉明義	大外刈	吉成(浅野)
○小泉明義	大外刈	村上(南)

個人戦の不成績を団体戦ではね返そとばかり、全員一丸となって大会に挑んだが、残念ながら緒戦で県立川崎高校に三対一と敗れた。

第二十二回 東京学生柔道優勝大会

五月二十七日於日本武道館

一回戦では立教大学をものともせず、圧勝して、二回戦にすすんだ。相手は専修大学であり余勢をかつて対戦したが、惜しくも二対〇と敗れてしまい敗者復活戦に残ることが出来なかつた。

一回单

本
學
6
—
0

立教大學

(氏名不詳)

二	回	戰	先鋒○黒 部
本			本
塾			塾
0			6
—			—
2			0
專修大學		(氏名不詳)	立教大學

		五回戦		湯本		背負投		○村上(南)	
		△中量級▽		○高崎		大澤国英光		○高田(松田)西(江南)	
		一回戦		二回戦		三回戦		四回戦	
		○小園	○高崎	○高崎	○高崎	○高崎	○高崎	○高田(松田)	○高田(松田)西(江南)
先鋒○羽鳥	日吉高校	○小泉	○田明義彰	内股優勢	縦四方	優勢	優勢	○高田(松田)	○高田(松田)西(江南)
信	8 — 1	横四方	○片石原(県川工)	○塙井(湘南)	○長谷川(南)	○長谷川(南)	○長谷川(南)	○高田(松田)	○高田(松田)西(江南)
東京工業高校対抗試合	六月二日 於	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校
先鋒	鳥村	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校	日大鶴ヶ丘高校

副将		先鋒	大將	副將	○	○	○	○	○
平湯	林	○高	○高	○大	○山	○大	○大	○山	○天
野本	田	輪	崎	辺	沢	下	田	辺	橋
日吉高校	田	崎	沢	橋	島	田	田	沢	下
先鋒	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	橋
引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分
崩上四方	崩上四方	引勢	優勢	引勢	上四方	合技	合技	後袈裟	引分
副将	○高世	黒和吉	小高	新高	片大	○池佐	○大將	○大將	大外刈
橋原沢	田	野	沢	宮	木	新井	保藤	西磯	引分
東京工業高校	田	村	西	桐	福	島	田	田	大内刈

大將	副將	先鋒	大將	副將	○	○
湯本	林園	高田大山	湯本	林園	高田大山	山下
本	園	高田大山	本	園	高田大山	大山
斗志夫	高田大山	三森西羽	斗志夫	高田大山	三森西羽	羽山
公庸	大山	大木田田鳥	公庸	大山	大木田田鳥	田鳥
斗志夫	英隆正隆崇邦	日吉高校	斗志夫	英隆正隆崇邦	日吉高校	崇邦
公庸	彰雄太和司嗣昭	信	公庸	彰雄太和司嗣昭	信	信
合技	上四方	引分引分	1	背負投	引分	引分
大將	副將○吉	製糸固分	—	引分	優勢	體落腰
田	柿	製糸固分	5	大將	副將	松小山
沼	高澤	新長水永	日大一高	八木	佐々木	小内
橋	松江	井堀嶋岡村		木	桜井	德井
						小山

第二十二回神奈川県高等学校柔道大会

(全国大会予選)

六月二十四日 於 東海大學體育館

一回戦

日吉高校 4 川崎工業高校 1

先鋒湯本公庸
○小泉明義
○平野寿雄
○園田彰雄
○高崎英雄
副將○堺原富田城山
優勢大外刈肩固
副將○丸山
小外刈

日吉高校	0	—	5	東海大相模高校
先鋒 湯本公庸	優勢	先鋒○瀬戸	崩上四方	○百井
副將 高園平	優勢	○山口	支釣足	副將○加賀美
大將 高崎田	背負役	辺	大將○渡	○
英雄 彰				

北海道遠征

八月十八日から七日間北海道遠征を行なつた。二十二日から三日間は北大、北海大、芝工大連合軍、道警、北大と試合を重ね最後に北大との新人戦に敗れ、二対一の

五分の結果であつた。

対北大・北海大・芝工大連合軍

八月二十一乙未十三日 於

北海道大学

先鋒○黑 部 篤 志
一本背負先鋒
14 | 2

○高金高伊植慶淺野見松渡足山加田後横木
桑谷田藤村田井山永辺立本藤中藤内村
君重信哲一兼幸洋幹雅和秀義辰規照康
昌信哉也郎信広朗夫二美夫康己夫治治

○ 羽紺泊本西高鈴向坂三前今野石長谷
井飯上山鳥野田須木井巻田田村口川

副将○伊藤
大将高田

大外刈副将岩崎
引分大将長谷川

第二十五回早慶対抗柔道戦

十月十日於講道館

久々に本塾が先取し、優勝の期待をいだかせる試合のスタートであった。四人目までは先取しながらもすぐに取り返されるという本塾の悪い癖が出て引きはなすこと出来なかつたが、前半三人の差をつけた。しかし後半、早稲田の気力の反撃で取り返され、十四年ぶりの大将戦となつた。先方の大将の勝負度胸と気力に押され、無念ながら一本負けを喫しましたも勝利の詩を歌うことは出来なかつた。

今回は両校の深刻な部員不足で戦後初めて二十各の対抗戦となつた。試合数は少なく、実力伯仲で熱のこもつた戦いが期待されたが全体的に盛り上らずに終つた。

審判員八段醍醐敏郎

七段猪熊功

六段松下三郎

○伊藤哲也(2)
渡辺雅二(2)
藤原引分
大外返先鋒安富祖貞
大沢慶久
光勑

本塾

○伊藤哲也(2)
渡辺雅二(2)
藤原引分
大外返先鋒安富祖貞
大沢慶久
光勑

○高宮茂二(3)	高桑君	松永君	慶田幹	木村兼	浅谷幸	金井重	植村一	山本秀	足立篤	高田和	後藤信哉	○野見山後	○伊藤規	○洋朗(2)
○高宮茂二(3)	高桑君	松永君	慶田幹	木村兼	浅谷幸	金井重	植村一	山本秀	足立篤	高田和	後藤信哉	○野見山後	○伊藤規	○洋朗(2)
○伊藤人(2)	○伊藤芳人(2)	○伊藤満(2)	○瀬井博英	○瀬井良一	○新井茂	○新井清	○新井静	○新井幸	○新井晴	○新井徳	○長谷川彦(2)	○大根田幸(2)	○外園良徹(2)	○外園良徹(2)
○伊藤人(2)	○伊藤芳人(2)	○伊藤満(2)	○瀬井博英	○瀬井良一	○新井茂	○新井清	○新井静	○新井幸	○新井晴	○新井徳	○長谷川彦(2)	○大根田幸(2)	○外園良徹(2)	○外園良徹(2)

○伊藤人(2)	○伊藤芳人(2)	○伊藤満(2)	○瀬井博英	○瀬井良一	○新井茂	○新井清	○新井静	○新井幸	○新井晴	○新井徳	○長谷川彦(2)	○大根田幸(2)	○外園良徹(2)	○外園良徹(2)
○伊藤人(2)	○伊藤芳人(2)	○伊藤満(2)	○瀬井博英	○瀬井良一	○新井茂	○新井清	○新井静	○新井幸	○新井晴	○新井徳	○長谷川彦(2)	○大根田幸(2)	○外園良徹(2)	○外園良徹(2)

副将	沢原俊英(3)	引分	林克明(3)
大将	前田雄武(3)	引分	副将金子隆志(3)
優秀選手	浜田喜重(3)	内股	大将○室井秀嗣(3)

本塾	後藤規夫、山本秀夫、黒部篤志
早稲田	長谷川一幸、新井茂夫、室井秀嗣

秋季大会

十一月十一日 於 日吉道場

恒例の秋季紅白試合は、連合三田会に合せて十一月十
一日、日吉道場で開かれた。現役の試合は部員の減少も
あって、このところ淋しい感がないではないが、それで
も日頃の稽古の成果を発揮しようとみんな元気一杯頑張
った。

当日は先輩が三十数名出席し、最近の見ものである先

輩チーム対現役チームの試合も行なわれた。先輩チーム
は数チーム編成され、歳を忘れて頑張っていたが、結果
は先輩チームが優勝した。

神奈川県体重別新人柔道大会

十一月二十三日 於 小田原城東高

一回戦 シード

		二回戦			
		日吉高校			
		三回戦	四回戦	三回戦	二回戦
先鋒	羽鳥信	○森田邦昭	○羽鳥信	○森田邦昭	○羽鳥信
副将	大橋正和	○木暮崇嗣	○木暮崇嗣	○木暮崇嗣	○木暮崇嗣
大将	高崎英雄	高崎英雄	高崎英雄	高崎英雄	高崎英雄
先鋒	羽鳥信	○森田邦昭	○羽鳥信	○森田邦昭	○羽鳥信
副将	大橋正和	○木暮崇嗣	○木暮崇嗣	○木暮崇嗣	○木暮崇嗣
大将	高崎英雄	高崎英雄	高崎英雄	高崎英雄	高崎英雄
0	—	2	—	2	—
	4	0		0	
注	卒業生送別試合、春季紅白試合は、例年のように行なわ れたが、記録に残っていない。	日大藤沢高	日吉高校	神工	平沼高校
		0 — 4	0 — 4	0 — 4	0 — 4
		引分	引分	引分	引分
		背負投	背負投	足払	足払
		優勢	優勢	引分	引分
		関節技	関節技	大将	大将
		○日下	○日下	佐々木	佐々木
		飯尾	飯尾	久保田	久保田
		○金沢	○金沢	鈴木	鈴木
		小俣	小俣	伊藤田	伊藤田
		木	木	寺田	寺田
				中村	中村